

【AV 機器トラブルサポート状況：池袋】

1. 教室 PC

トラブルのうちもっとも多いのは、教室 PC 対応である。

(1) トラブル内容

① 機材トラブル

前後期とも、サーバー上の問題に起因する障害が多かった。

前期で最も多かったのは ID,パスワードを求める画面が出てきて、入力しても同じ画面のままログインできない、または「ようこそ」や「ただ今準備中」というメッセージが出たままログインしない、接続に時間がかかるといった障害であった。

一方後期は画面が真っ白のままでログインできない、という症状が相次いだ。

前期はその都度貸出 PC の設置で対応したが、抜本的な解決には至らなかった。

後期も授業開始直後は PC のトラブルが頻発したが、PC チームと連携を組み、情報共有してから、現象と傾向が明らかになり、解決へと至った。

② 操作ミス

前後期とも、LAN 未接続により起動しないことが多かった。

今後無線 LAN での接続可能な PC の導入が望まれる。

(2) 教室タイプ別

PC をケーブルで接続しなくてはならない AV ラックでのサポートが最も多い。教室数が多いということもあるが、使用する前にケーブル接続をしなくてはならないこと、現在の PC は RGB が固定できないため、せっかく接続してもはずれてしまうことなどが、利用者にとって不便となっている。

次に操作卓も高い割合でサポートを要する。こちらはシステムとは PC 電源が別であること、パネルで選択しなくてはならないことが原因となっている

物的障害では RGB ケーブルの破損が多い。特に授業開始前にすべて点検したにもかかわらず前期が多いのは、PC の接続に不慣れな利用者が、無理に PC を接続しようとしたことから、ピン折れ、断線等を起こしたとみられる。

図 10 教室 PC トラブル内容の内訳

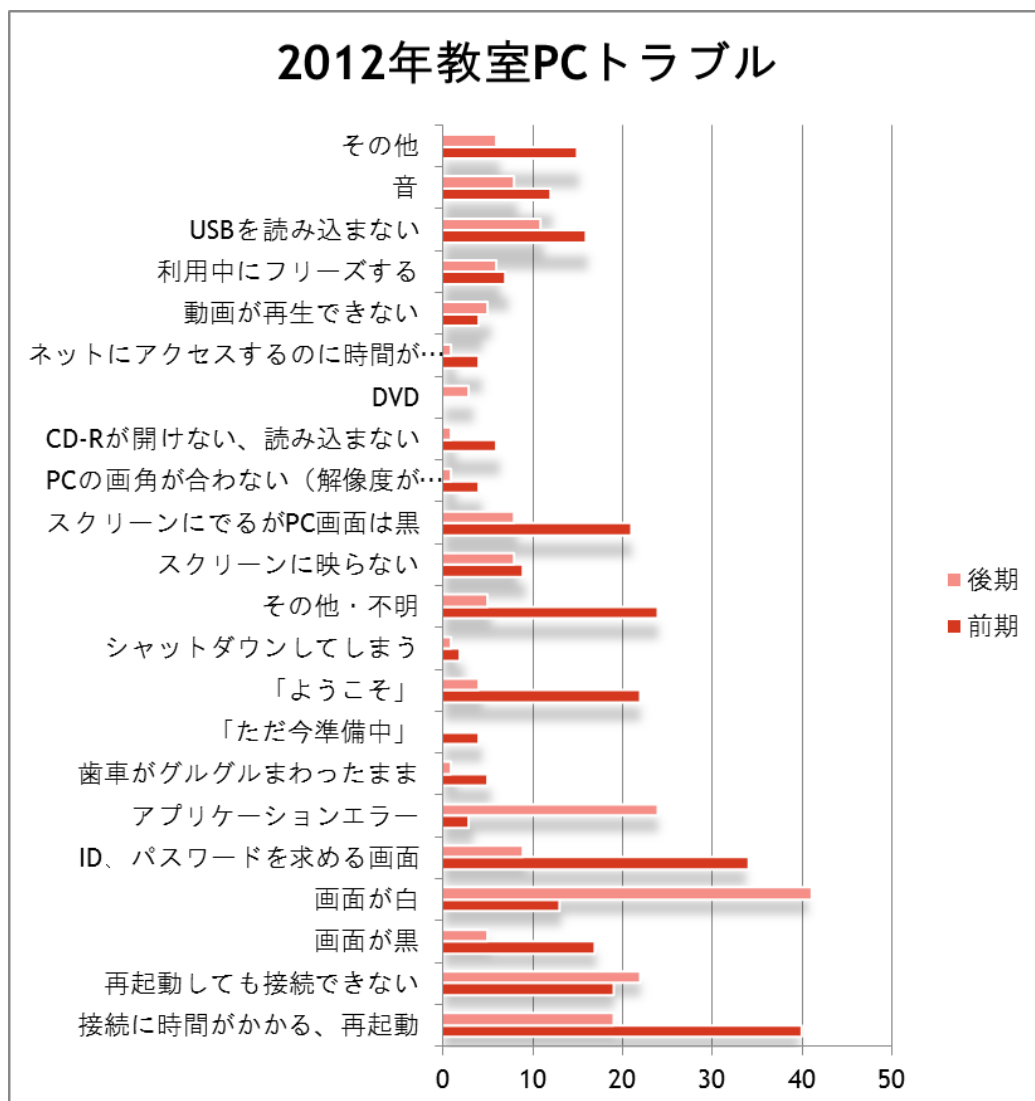


図 11 教室 PC 故障内容

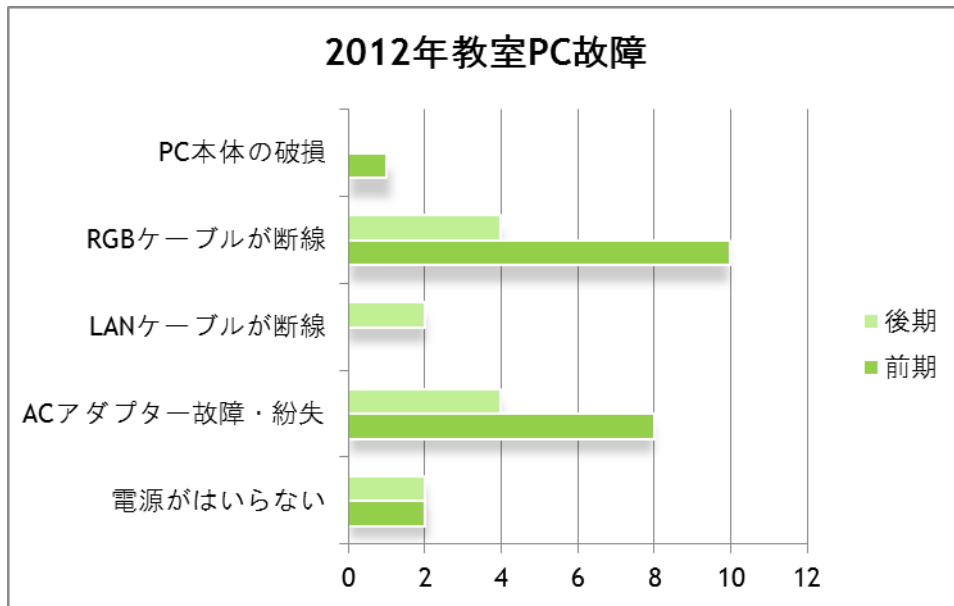
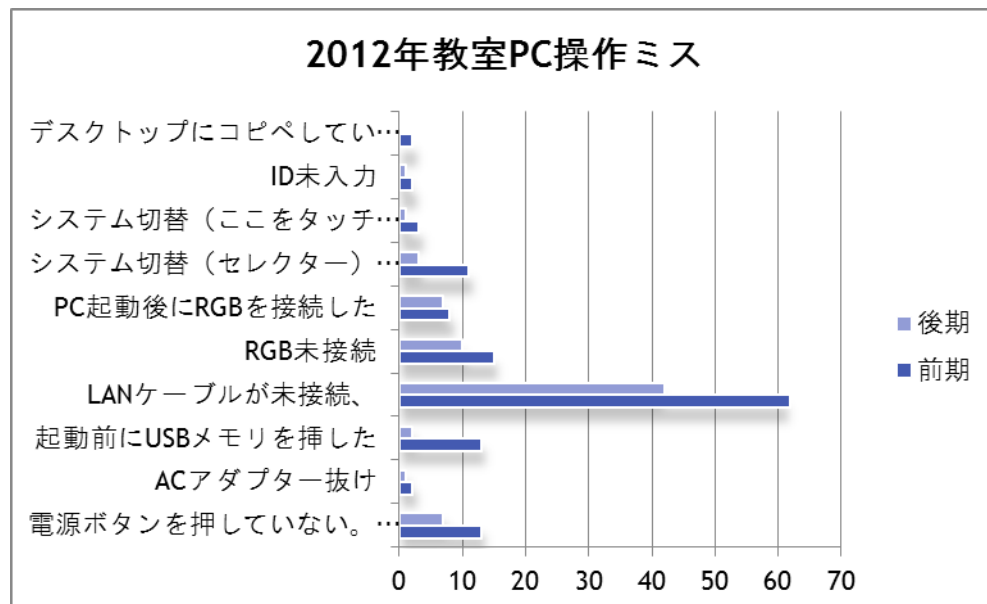


図 12 教室 PC 操作ミス内容



2. その他の AV 機器トラブル

- (1) PB 社のフィードバックリデューサーの故障による障害が相次いだ。症状としては、教室内のマイクがワイヤレス有線を問わず、拡声しなくなってしまう。
この機器を搭載した 7 号館や 14 号館で頻発していたが、原因がつかめずフィードバックを OFF にするぐらいしか対処法がわからなかった。
しかしやがてメーカー側から機器そのものの障害であることが判明し、メーカーから代替品を無償で提供されたので、現在空き時間を利用して交換し始めている。
- (2) タッカーホールで首都圏懇談会の最中に、広報の DVD が途中で砂嵐状態になる事態が発生した。当初ブルーレイプレーヤーかプロジェクターを疑ったが、交換するも再び同じ現象が発生した。長時間の動作試験等を繰り返した結果をもって、メーカー側に調査を依頼したところ、KOWA 社製のスイッチャーの障害であることが判明した。このタイプを搭載した教室すべてのスイッチャーの素子をメーカー側が改修した。
- (3) 8201 教室のプロジェクターは利用者から暗い、とのクレームがあがった。機器の障害ではないが、経年劣化により、ランプを交換や内部清掃をしたところで黄変およびマゼンダ色の発生がみられた。機器改修までにはまだ 1 年を残しているが、修理費用が見合わないため、代替機を設置した。
- (4) 4 号館 4 階簡易操作卓（通称青 docomo）がたびたびフリーズして電源が入らないことがあった。梅沢技研社のスクリプトの書き換えにより、解決した。

9 号館大教室のスクリーンは駆動系のユニット（モーターおよびクラッチ）に過電圧がかかったことで配電盤のブレーカーがおちた。トランスの電圧変更を行い、解決した。